

世田谷区長の保坂展人です。

日頃から福祉のために御尽力いただきありがとうございます。年末から新年にかけて新型コロナウイルスの急激な感染拡大が続き、施設運営にも細心の注意と対策をされていることと存じます。

さて、世田谷区では介護・高齢者施設、障害者施設を対象として10月1日から社会的検査を進めています。重症化リスクに直面する高齢者を守るために、施設職員や入居者全てをPCR検査を実施するもので、すでに延べ300施設5000人を超える検査から55人の方の陽性を確認し、療養・治療につなげました。この社会的検査は定期的に巡回する「定期検査」と施設等で陽性者が出た時に行なう「随時検査」に分かれています。

今回のお願いは、まだ「定期検査」を申し込まれていない場合はぜひ感染拡大防止のために社会的検査を受けていただきたいとの件についてです。

すでに「定期検査」を受けた施設で陽性者が出た場合には1人、2人の場合が多いのですが、10数人の無症状の陽性者が出た施設もあります。そのままであればさらに多くの方が感染し施設機能を止める可能性もありましたが、「早い段階で感染増がわかり、施設機能を存続して対応することができた」と検査の効果をふり返っています。

現在、感染者の急増で症状があっても病床が不足し入院調整が厳しい状態です。海外でも介護施設から多数の感染者が出ても医療につなげない状況が報告

され、現在はその一手手前の危険な状況となっています。重症化を避け生命を守るための社会的検査に御協力下さい。

なお、陽性者が発見された時に、事業所に対してのサービス継続支援については別紙の通りです。

今後、世田谷区では介護施設等で働く職員の方 15000 名を対象に唾液自己採取でスクリーニング検査（PCR プール方式）を実施します。すでに一回目の検査を受けた方も含めて受検して下さい。感染拡大の動向を見ながら、検査チームが施設訪問する 10 月からの社会的検査と合わせて定期検査を実施していきます。

ますます厳しい寒さが続きます。事業運営者の皆さん。現場を支える職員の皆さん。利用者・入居者の方と共に健康を保ち、コロナ禍を乗り越えていきましょう。そのために区も全力を尽します。

令和 3 年 1 月

世田谷区長

保坂展人